ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
76
2016.9

PHOTO: Kenshu Shintsubo
STYLING: Toshio Takeda (mild)
HAIR: KANADA (lake tajo)

目を伏せたり、横を向いたり。ふとした動きで、フェミニンさを感じさせるベーシックメイク。赤の使い方がポイントです。

ニット ¥48,000、プリーツパンツ ¥98,000（共に 3.1 フィリップ リム｜3.1 フィリップ リム ジャパン）／時計＊私物

今月のミューズが生まれるまで

知美さん
学生
2016. 7. 10　at Denenchofu
Photo: UDA

「知美さんは、清潔感があって、きちんとした佇まいの人。周りに流されない古風なところを光らせるための正統派ベーシックメイク、これでいこうと思いました」（UDAさん）

ただし、メイクカラーに選んだのは、ピンクやボルドー。

「赤系は、彼女の女性らしいキャラクターとの相性がよく、パッと見はベーシック。でも、目線や光のあたり方が変わるたびに、かすかに覗いて、ただのクラシックで終わらない隠し味になります」（UDAさん）

アイカラーは、上下瞼を染めるように入れるモダンな使い方。これまでピンクを敬遠していた知美さんも、「これは、似合ってるかも」と、笑顔に。

「マスカラやリップにはボルドーを入れましたが、婚の血色感は、逆にすっきりさせて赤みのバランスをとっています。トータルの差し引きで考えると、やりたいポイントメイクを似合わせるのも意外に簡単です」（UDAさん）

ベースメイクは、少量のファンデをスポンジでのばして肌の質感を整える。頬に丸みのある知美さんの場合、さらに、赤みをコントロールするパウダー（4）をのせる。頬の自然な血色感は残しながら、赤みの印象を抑えるようにごく薄くヴェールを。こうすることで、全体がすっきりし、目元や唇の赤みのバランスがよくなる。瞼には、ピンクのアイライナー（1）を使用。上瞼だけに入れると和風に見えるため、下瞼の涙袋にも入れる。上下にいったんライン状に引いたあと、皮膚が染まったような濃度になるよう指先で丁寧にぼかしこむ。マスカラは、バーガンディ（2）。唇には、ローズのリップスティック（3）を、ブラシで少量ずつ重ねる。

4　3　2　1

UDA
メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション＆ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。緻密な理論に基づく技は日々進化中。

1: チアフルなピンク。LBスマッジジェルアイライナー #カクテルピンク ¥800＊限定発売中（アイケイ）
2: 美しいバーガンディ。デコラガール クーピー柄カラーマスカラ #ラズベリーローズ ¥1,500（クレアモード）
3: 唇の赤みの延長のように仕上がるソフトなローズ。キスキス #520 ¥4,300＊限定発売中（ゲラン）
4: 澄んだ明るさを頬にプラス。ルナソル ライティングシアーハイライト #01 ¥5,000＊8/19発売（カネボウ化粧品）

美人化モデル募集中『ニッポン美人化計画』では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました！ 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか？ 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza